

コース番号:26-20-12-080-049

作業手順の作成によるノウハウの継承

受講料
3,300円
(税込)



各職場でのノウハウの継承を目的とした現場で活用できるカリキュラムです。

【演習】

- ・皆さんの会社の中堅・ベテラン従業員の継承すべき作業とは何かを考えて頂きます。
- ・その作業を、どのように継承したら良いかを皆さんで検討して頂きます。

生産性向上支援訓練のオープンコース最新情報はこちら(HP)
⇒<https://www3.jeed.go.jp/matsumoto/poly/seisan-open.html>



※受講の申込方法は裏面をご覧ください。

実施日時	12月9日(水) 10:00~17:00(6時間)
会場	岡谷商工会議所 (岡谷市郷田1-4-11)
対象者	中高年齢層
定員	15名 (先着順。最少催行人数6名)
講師	合同会社CCN 鵜野 弘樹 氏
申込締切	11月16日(月)

【主催】  独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers
長野支部長野職業能力開発促進センター

【共催】 諏訪商工会議所、岡谷商工会議所、下諏訪商工会議所、茅野商工会議所、松本商工会議所
安曇野市商工会、塩尻商工会議所、大町商工会議所、松本ものづくり産業支援センター

【後援】 NPO諏訪圏ものづくり推進機構、岡谷市/テクノプラザおかや、ものづくり支援センターしもすわ、
茅野市精密工業連合会、茅野・産業振興プラザ、松本機械金属工業会、中信溶接協会、
諏訪信用金庫、松本信用金庫

【訓練に関するお問い合わせ】
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部
長野職業能力開発促進センター 松本訓練センター
ポリテクセンター松本 生産性向上人材育成支援センター
TEL 0263-58-3392 FAX 0263-58-5062

※お申し込み後の変更やキャンセルに関するお問い合わせは、裏面記載のポリテクセンター長野へご連絡願います。

コース名

作業手順の作成によるノウハウの継承

コースのねらい

後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員の作業の見える化を行い後輩従業員が習得すべき作業手順の作成に係る知識と技能を習得する。

	基本項目	主な内容	時間 (H)
講義内容	ナレッジマネジメント	<p>(1) 知識伝承の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ナレッジマネジメント (Knowledge Management) とは、企業や社員が持つ優れた知識 (Knowledge) を全社的に共有して活用するマネジメント手法の一つで多くの企業が導入している。1990年代中頃から企業が持つ競争力を活性・向上させる経営手法として注目を浴びているがその注目される理由、必要性、取り組むメリットについて学習する。 <p>(2) ナレッジの整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業に存在する知は、表出化している知 (形式知) と隠れた知 (暗黙知) に分けることができる。個人や集団に属する暗黙知をいかに共有可能な形式知に転換するか、はナレッジマネジメントの中心課題の一つである。暗黙知、形式知の意味などを解説する。 個人知を組織知に転換する際の留意点など <p>個人のノウハウに頼る業務では、そのヒトがいなくなればたちまち業務は滞ってしまう。個人の知的資産を洗い出し、組織として活用することが意味や転換する際の留意点について解説する。</p> <p>技能伝承の重要性</p>	2.0
	作業分解	<p>(1) 作業分解とは</p> <ul style="list-style-type: none"> 継承する作業を具体的にイメージできるまで細分化して、作業の抜け漏れがないようにします。 作業の順序設定をする時には、作業の依存関係 (前工程の作業が終わらないと着手不可能なのか、並行して作業を進める事ができるのか等) を明確にします。 <p>(2) 作業分解のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ①作業の目指すところを明確にする ②作業の完了までに必要な細分化した作業内容をすべて洗い出す ③細分化された作業それぞれの依存関係に気をつけ順番を決める ④細分化された作業をツリー構造に整理し必要工数を決める 	2.0
	作業手順の作成	<p>(1) 作業分解された技能の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①作業の大まかな作業工程を決める ②作業工程の順番を明確にする ③工程毎に作業内容、前提事項、注意点などを明確にする ④特に重要と思われる要素作業を特定する ⑤前後関係などから、工程や要素作業の内容を精査する <p>(2) 作業手順の提示方法 (紙媒体、または動画等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業分解による暗黙知の見える化するが、明文化 (紙媒体に) するのがなかなか難しい時は動画でマニュアルを作るのも良い。 <p>(3) 作業手順の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> カンコソ作業 (言語化しにくい熟練技術) を作業手順書や技能マニュアルにすることが大切です。 <p>(4) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 後輩従業員へノウハウを継承した後に、ベテランと新人の作業方法の違いを比較し、検証することが大切です。同じ作業を行う際の手順や動作の違いを比較することで、新人が学ぶべきポイントや改善点を明確にできます。 	2.0

受講申込の手順

※令和8年度より、FAXでの申込は受け付けておりません

ポリテク松本のホームページから、「生産性向上支援訓練受講申込書」をダウンロードしてください。



必要事項を記入し、申込締切日までにポリテク長野宛て(下記送信先)電子メールで送付してください。



申込書がポリテク長野に到着後、申込担当者様に受講料支払い手続き等についてご連絡いたしますので、指示に従ってください。

受講申込書送信先 : nagano-seisan@jeed.go.jp

会場案内

岡谷商工会議所
(岡谷市郷田1-4-11)

車でお越しの方は案内の指示に従って駐車願います。



●お問い合わせ



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部
長野職業能力開発促進センター

ポリテクセンター長野

生産性向上人材育成支援センター

Tel 026-243-1290

ポリテク長野 生産性オープン

